

1. 騒音評価対象区間

「自動車騒音常時監視5カ年計画」（平成18年度）の年次計画に示された、平成23年度（5年次目）の騒音調査対象区間は表1のとおりとなっている。

表1 騒音調査対象区間選定状況

| 観測種別 | 市名 | 道路名 | センサス番号 | 路線等数 |
|---------|-----|----------------|--------|---------------|
| 定点観測区間 | 安来市 | 一般国道9号 | 1001 | 8市 5路線10区間 |
| | 松江市 | 一般国道9号 | 1008 | |
| | 出雲市 | 一般国道9号 | 1015 | |
| | 江津市 | 一般国道9号 | 1024 | |
| | 益田市 | 一般国道9号 | 1036 | |
| | 雲南市 | 一般国道54号 | 1045 | |
| | 大田市 | 一般国道375号 | 1094 | |
| | 出雲市 | 一般国道431号 | 1101 | |
| | 松江市 | 一般国道485号 | 1131 | |
| | 浜田市 | 一般国道9号 | 11030 | |
| 準定点観測区間 | 益田市 | 一般国道191号 | 1068 | 3市 5路線5区間 |
| | 松江市 | 一般国道431号（バイパス） | 1106 | |
| | 松江市 | 松江島根線 | 4049 | |
| | 松江市 | 松江木次線 | 4057 | |
| | 安来市 | 米子広瀬線 | 6002 | |

合計区間（8市9路線15区間）

詳細図は図1-1から図1-9のとおり。

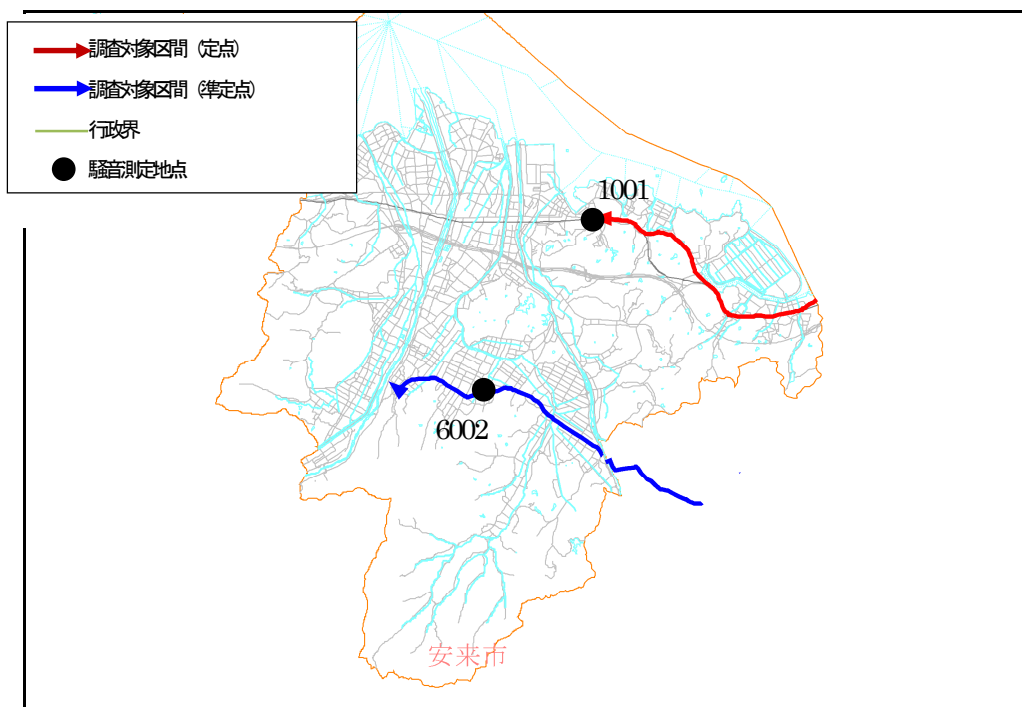


図1-1 調査対象区間 (安来市)

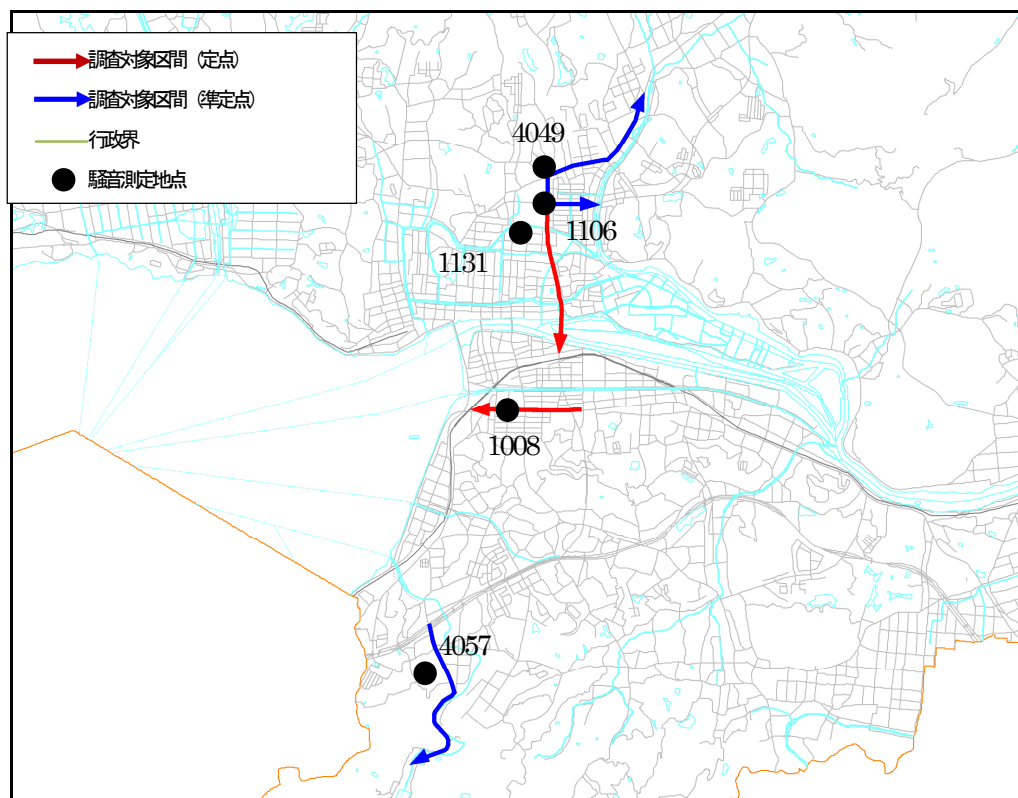


図1-2 調査対象区間 (松江市)

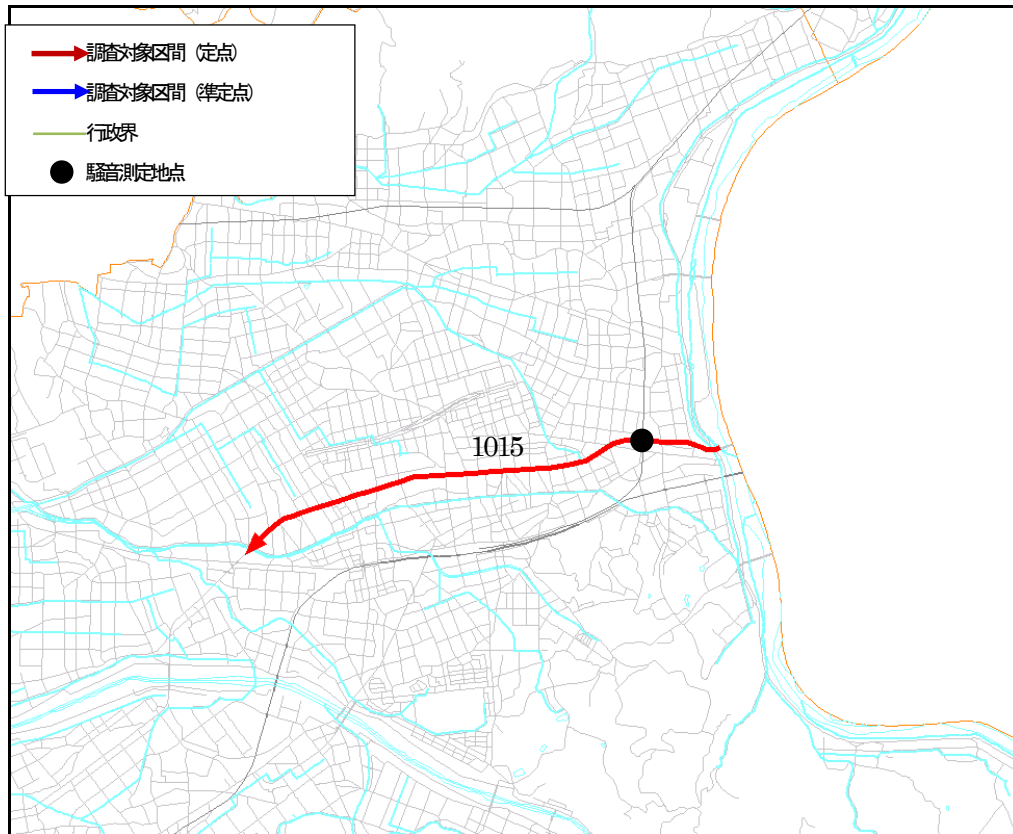


図1-3 調査対象区間 (出雲市)

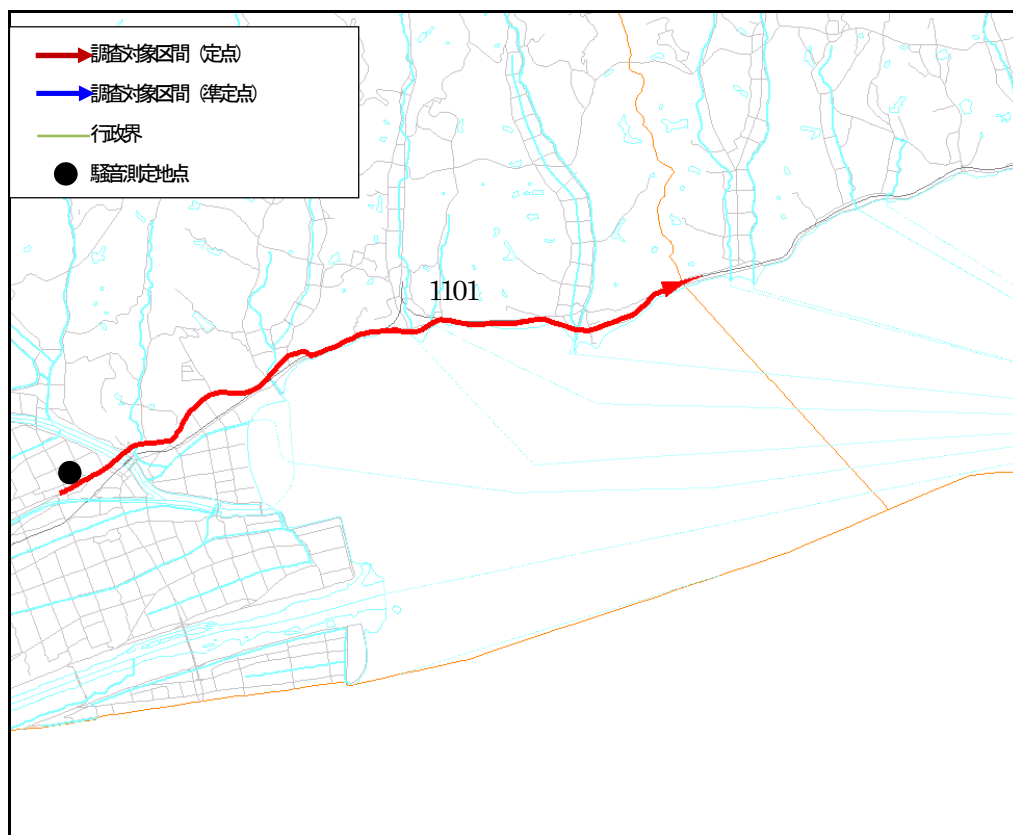


図1-4 調査対象区間 (出雲市)

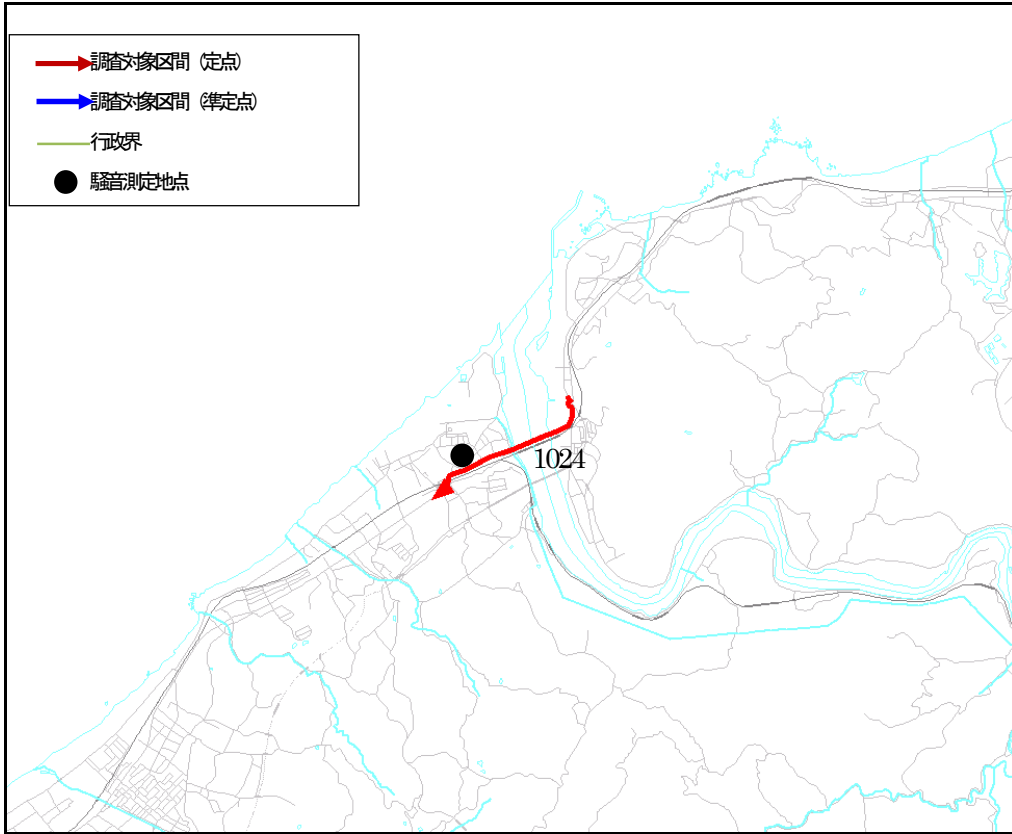


図1-5 調査対象区間 (I津市)

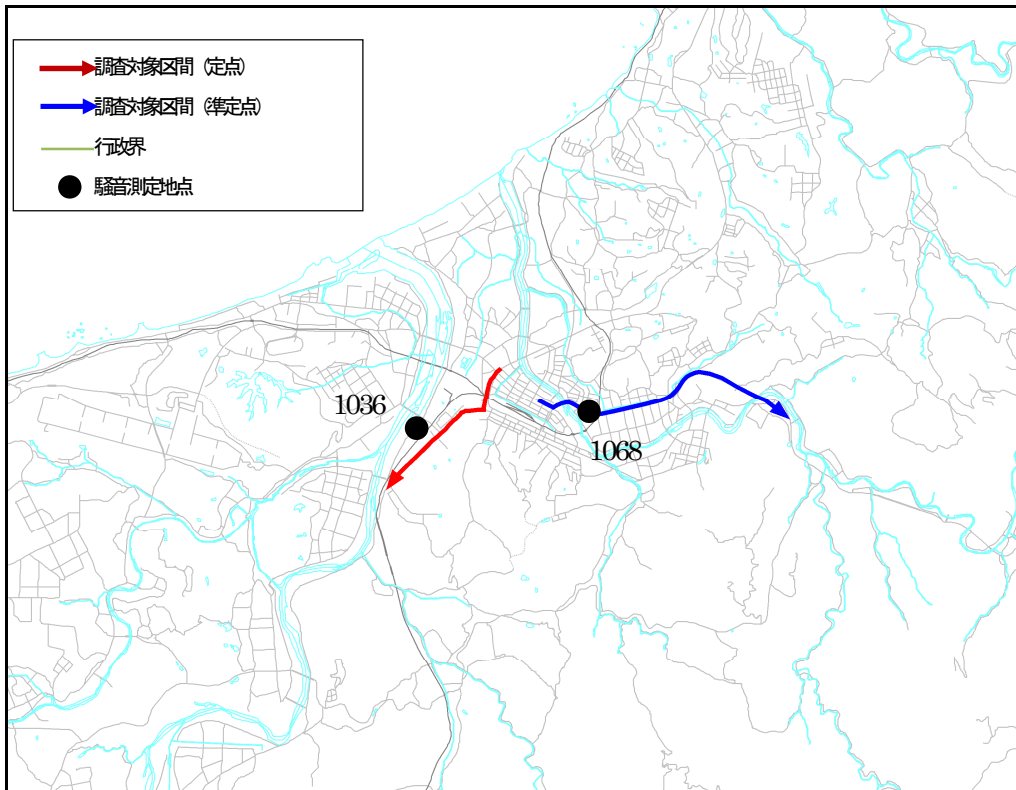


図1-6 調査対象区間 (益田市)

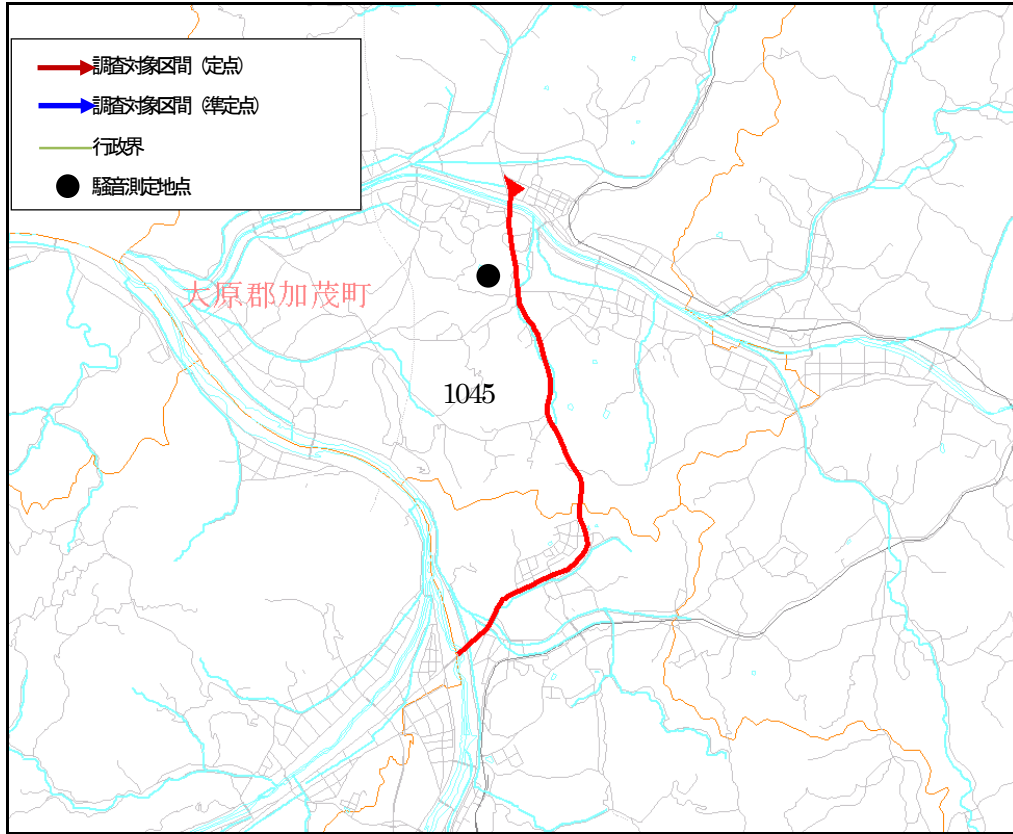


図1-7 調査対象区間 (雲南市)

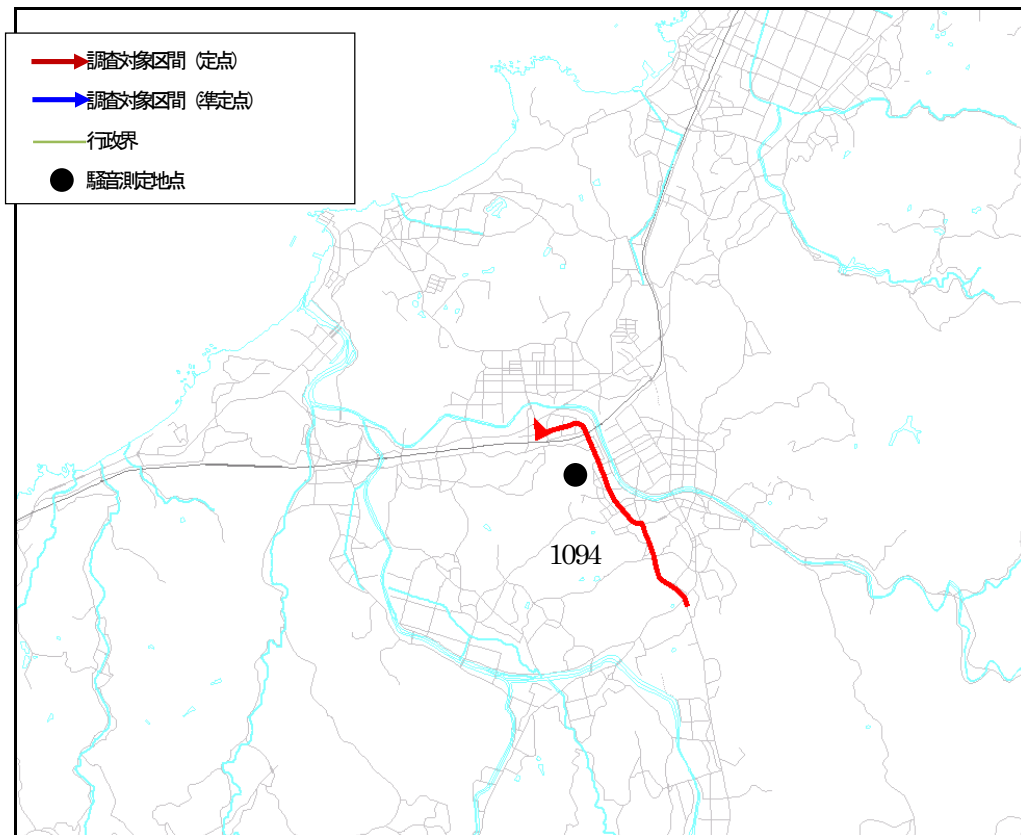


図1-8 調査対象区間 (大田市)

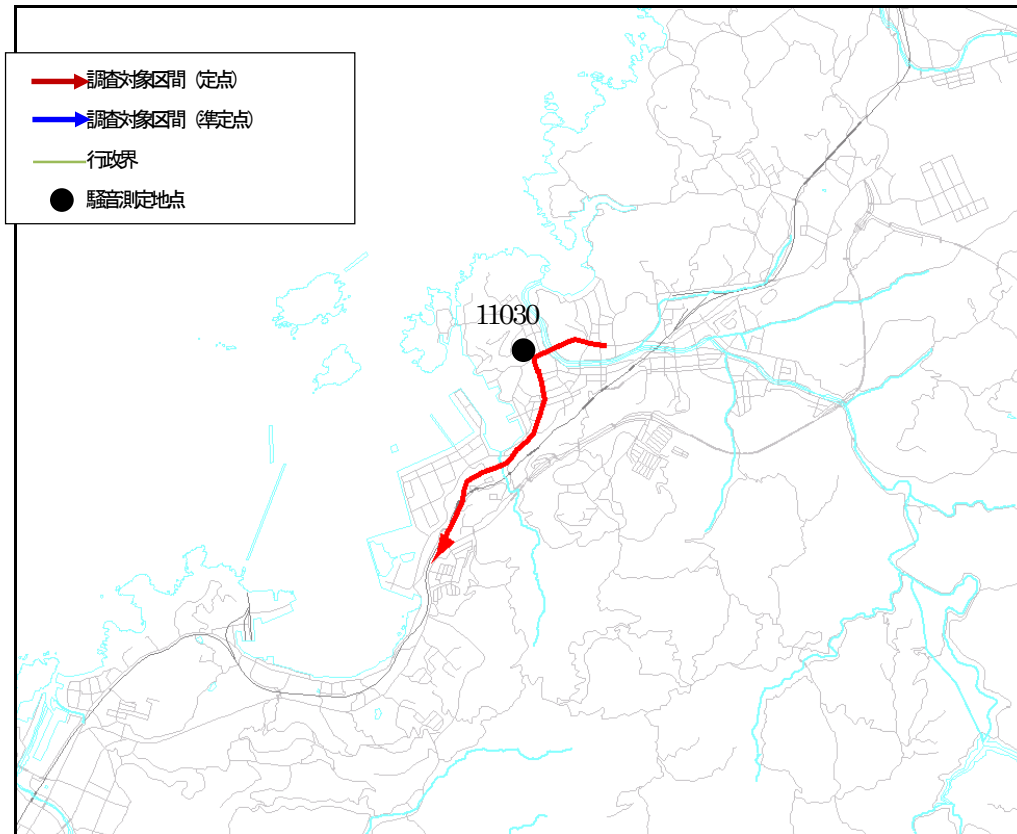


図1-9 調査対象区間 (浜田市)

2. 自動車騒音地域評価結果

(1) 市別評価 (表2)

安来市を除く7市(松江市、出雲市、江津市、益田市、雲南市、大田市、浜田市)は、昼夜とも環境基準を満足した割合が100%であった。

また、安来市も、昼夜とも環境基準を満足した割合が全体でそれぞれ87.8%であり、環境基準の達成率は高かった。

表2 評価結果概要

| 市名 | 昼間・夜間とも 基準値以下 | 昼間のみ 基準値以下 | 夜間のみ 基準値以下 | 昼間・夜間とも 基準値超過 |
|-----|------------------|---------------|---------------|------------------|
| 松江市 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 浜田市 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 出雲市 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 益田市 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 大田市 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 安来市 | 87.8% | 2.7% | 0.0% | 9.5% |
| 江津市 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 雲南市 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

(2) 評価区間別の評価結果（表 3）

昼夜とも環境基準を満足した割合は、評価区間番号 1001-1（一般国道 9 号、安来市）以外の全ての区間で 100%であった。

評価区間番号 1001-1（一般国道 9 号、安来市）は、昼夜とも環境基準を満足した割合は 63.6%、昼のみ環境基準を満足した割合は 8.0%、夜のみ環境基準を満足した割合は 0.0%、昼夜とも環境基準を超過した割合は 28.6%であり、昼夜とも環境基準を超過した割合が多かった。

表 3 評価結果概要

| 評価区間番号 | 市名 | 路線名 | 昼間・夜間とも 基準値以下 | 昼間のみ 基準値以下 | 夜間のみ 基準値以下 | 昼間・夜間とも 基準値超過 |
|---------|-----|------------|------------------|---------------|---------------|------------------|
| 1001-1 | 安来市 | 一般国道 9 号 | 63.6% | 8.0% | 0.0% | 28.6% |
| 1008-1 | 松江市 | 一般国道 9 号 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 1015-1 | 出雲市 | 一般国道 9 号 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 1024-1 | 江津市 | 一般国道 9 号 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 1036-1 | 益田市 | 一般国道 9 号 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 1036-2 | 益田市 | 一般国道 9 号 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 1045-1 | 雲南市 | 一般国道 54 号 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 1094-1 | 大田市 | 一般国道 375 号 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 1094-2 | 大田市 | 一般国道 375 号 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 1101-1 | 出雲市 | 一般国道 431 号 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 1101-2 | 出雲市 | 一般国道 431 号 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 1131-1 | 松江市 | 一般国道 485 号 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 11030-1 | 浜田市 | 一般国道 9 号 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 1103-2 | 浜田市 | 一般国道 9 号 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 1068-1 | 益田市 | 一般国道 191 号 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 1106-1 | 松江市 | 一般国道 431 号 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 1106-2 | 松江市 | 一般国道 431 号 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 4049-1 | 松江市 | 松江島根線 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 4057-1 | 松江市 | 松江木次線 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 6002-1 | 安来市 | 米子広瀬線 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 6002-2 | 安来市 | 米子広瀬線 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

3. 考察

(1) 全体について

平成23年度の評価結果を概観すると、評価区間全体における昼夜とも環境基準を満足した割合は98.7%と高いものであった。また、近接空間では97.5%であり、近接空間においても環境基準の達成率は高いものであった。

市別では、安来市で環境基準を超過した住居等があった。それ以外の市では全ての住居等で環境基準を満足していた。環境基準を超過していた区間は、評価区間番号1001-1（一般国道9号、安来市）のみである。

(2) 一般国道9号について

一般国道9号については、昼夜とも環境基準を満足した割合は96.9%と高かった。また、近接空間では94.4%であり、近接空間においても環境基準の達成率は高かった。なお、一般国道9号以外の路線は全て環境基準の達成率が100%であった。

区間別に見ると環境基準を超過した区間は、評価区間番号1001-1（一般国道9号、安来市）のみであり、その他の区間は全て環境基準の達成率が100%であった。今後、環境基準の達成率を向上させるためには、評価区間番号1001-1（一般国道9号、安来市）のように達成率が100%に達していない区間に対して、遮音壁の設置や低騒音舗装の敷設の他、交通の集中を抑制する、大型車混入率を低下させる等の対策を行うことが有効であると考えられる。